

佐藤信綱 （きょう） 哲學者、評論家。明治二十八年二月八日茨城縣生れ（一九〇一）。昭和二年東京帝國大學文學部哲學科卒。十二年雜誌『文學界』同人。二十五年法政大學教授。

著譯書『自然の認識に於ける原理』（自然科学の基礎といふこと）（昭和七年十一月）『千五百鐵塔書院』、『近代科學』（昭和十一年九月）

十八日日本評論社『現代哲學全集』、『文化のため』（昭和十二年

九月）『千五百日本評論社』、『イマヌエル・カント著』『美と崇高との感

情性』『觀察』其他』（武田信一）『西園』共譯、昭和十四年一月、二十四日

岩波書店）、『理知の心』（昭和十四年七月）『中央公論社』、『新

しん鏡』（昭和十五年九月）『中央公論社』、『時代の條件』（合著

・池島重信編、昭和十五年九月十七日名取書店）、『心と形』『文藝論

集』（昭和十五年十一月）『千五百創元社』、『哲學試論集』（昭和十

六年九月十六日創元社）、『國民の進歩』（昭和十七年七月）『千五百

出書房）、『岡倉天心』（昭和十九年十月十一日新潮社）『日本思想家

選集』（、『山田幾多郎と三木清』（昭和二十一年一月）二十六日、再

刊、二月一日中央公論社）、『考一論理學新講』（昭和二十二年二月

五日日本評論社）、『わが用心』（昭和二十二年六月二十日青林社）、

『回想の三木清』（合著・谷川徹二編、昭和二十二年一月十五日文化

書院）、『今日と明日』（昭和二十二年二月二十日白鳥書院）、『心

と影』（昭和二十二年五月二十日齋藤書店）、『哲學教室』（合著・

二十世紀研究所編、昭和二十二年九月二十日啓新社）、『わが心の精

神』（昭和二十二年七月二十五日京都・人文書院）、『思索の窓』（昭

和二十二年十一月二十五日靖文社）、『科學の方法と分類』考、卷之二

(昭和二十五年十一月五日日本評論社)等。